

班色亦鷦鷯類也。源順和名號巧婦、巧婦者鷦鷯之名。燕人謂之必大。按葦雀爲鷦鷯類，則巧婦之名亦不遠耳。

〔大和本草十五小鳥〕ヲゲラ 腹白ク尾長シ、背ノ毛色ウグヒスニ似タリ。ヨシ鳥トモ云、又ヨシ原雀ト云、ツグミヨリ小ナリ。筑紫ノ方言ギヨ。シト云、其ナク聲ギヨ。シト云ニ似タリ。麥熟スル時ナク、其聲晝夜不止、甚シゲクカマビスシ。漢名シレズ、僧玄蘇仙巢稿葦雀序ニ斯禽也。筑後肥前最夥シト云ヘリ。小兒言遲キニ、コレヲ炙食ヘバ言フト俗說ニイヘリ、未知然否。

〔重修本草綱目啓蒙三十二〕巧婦鳥○中

集解一種鳩鷦ハヨシハラスダメ、一名ゲラ、ヲゲラ仙臺筑前四國、ヨシドリ加州ヨシキリドリ江戸ギヤウジ越中ギヤウムシ西國、ギヨドリシ筑前肥前コチノ播州、ケシ若州ムギウラシ共同州ムギカラシ土州ケス丹波、カラムジ仙臺、夏月蘆葦中ニ居リテ、莖中ノ蟲ヲトリ食ヒ、晝夜鳴クコト喧シ、ソノ聲ケシト云ガ如シ、即麥秋ノ時ナリ、形ハ柴鵠鵠ニ似テ大ナリ、色モ相似タリ、腹下白ク尾微長シ、一種小ヨシキリハヨシキリニ半分小ク、形色ハ異ナラズ、南部ニテハコレヲヨシドリト云、大ヲカラムジト云フ、聲ハ同ジト云フ、爾雅ニ鳩鷦ハ別種ナルヲ、時珍引テ鷦鷯ノ一種トスルハ非ナリ、一名葦雀通雅蘆鷲、鎮江蘆虎、爾雅

〔喚子鳥上〕よしきり

ギヨギヤウシとも、又げらともよしはら雀ともいふ。

ゑがい

生ゑ壹、五分、

粉壹、五分、

あをみ入、

大きさうぐひすに大きし、毛色鶯ににたり、囀り大をん、あら鳥、かい鳥になりがたし、子は夏出る、かん氣になればかならず落る、たまにとしをこすは、つよくかいよきものなり。

小よしきり

ゑがい 粉壹、五分、

大きさよしきりに半分ちいさし毛色諸事よしきりににたり、さへづりよし、飼にくき類、よしきりに又々よはき鳥なり、夏す子出る、あら鳥かいがたし、